



なぎちょう
奈義町

6月議会

議会だより



たくみにパドルを操る子どもたち

第38回 B & G スポーツ大会岡山県大会水上の部

(荒内西地内大池)

143号

【おもな内容】

平成29年8月1日発行
発行 奈義町議会
編集 議会広報委員会
〒708-1392
岡山県勝田郡奈義町
豊沢306-1
☎(0868)36-4191

- 6月議会で決まったこと 2～3ページ
- 一般質問（8名） 4～11ページ
- 常任委員会報告 12ページ
- 特別委員会報告 13ページ
- 研修会報告・編集後記 14ページ

ナギカラ 定住化などを議論

6月定例議会は、6月13日から22日まで10日間行われ、**補正予算**3件、**報告**5件、**選任**1件、**陳情**3件、**その他**1件など13件を審査し決定。8名の議員が一般質問を行いました。

《補正予算》

題などを検討する子育て・教育施設検討会（町民の中から無作為に50人を選出し構成）の報償費に、

○一般会計補正予算
歳入歳出にそれぞれ1億8200万円を追加し、

総額41億7000万円となりました。

歳入の主なものは、町債、4000万円、地方創生推進交付金、400

0万円、地方創生拠点整備交付金、4400万円等です。

歳出の主なものは、観

光DMQ、CCRC事業に、8000万円（豊沢町営住宅跡地周辺の土地の購入費などを含む）、

小商いパイロットキッチン整備事業（山彩村に厨房、作業棟、トイレ等を設置する事業）に900万円、中学校の移転問



パイロットキッチンが予定されている山彩村

質疑打ち切りの後、森藤政憲議員が、「教育検討会の意味がわからない。中学校移転については、町民の声は、今の所で、が多数である。その声に応える事こそが重要である」との趣旨の反対討論、芦田一郎議員が「中学校移転は決まっている訳ではない。決まっているのは、建て替えである。教育検討会は必要と思う。」との趣旨の賛成討論を行い、その結果、賛成多数

○平成28年度奈義町一般会計繰越明許費の報告について
主なものは、地方創生事業の、旧王将跡地利用の事業費、1億6200万円を繰り越すものです。

○平成28年度奈義町一般会計繰越明許費の報告について

議員から、この施設は、高校生が集まる場というのが一つの目的になっているが、難しいのではないか、との質疑が出されました。

主なものは、地方創生事業の、旧王将跡地利用の事業費、1億6200万円を繰り越す

（賛成7、反対2）

○後期高齢者医療特別会計

歳出に還付金を15万円追加し、これには予備費を充当しました。

○上水道事業会計補正予算
内容は、支出の人件費調整11万4000円です。予備費を充当しました。（以上2件、全員一致）

○専決処分「奈義町税条例の一部を改正する条例」

○専決処分「奈義町国民健

康保険税条例の一部を改正する条例」など3件の専決処分は、国の法律の改定に伴い、すでに、実施済みであり、議会に報告するものです。

《報 告》

○平成28年度津山圏域東部衛生施設組合清算特別会計繰越明許費の報告について

施設解体撤去整備事業費の、1900万円のうち、1100万円を繰り越すものです。

6月 定例議会

平成29年
6月13日～22日

中学校移転、 地方創生、

陳情審査の結果

| 陳情名 | 内容 | 結果 |
|---|--|--|
| 要望書（新しい「中学校」及び「保育園等」の建て替えについて） | 保育園、幼稚園、小学校、中学校のPTA会長から3月議会に提出された要望書です。早急に、幼保一元化、教科センター方式、施設一体型の中中一貫校を作りたい。 | 継続審査 (全員一致) |
| 要望書（中学校建て替えと幼保一体型こども園の整備について） | 保育園、幼稚園、小学校、中学校のPTA有志から提出されたものです。幼保一元化の取り組みと、中学校整備の問題は切り離して進めて欲しい。良い面、悪い面の両面の情報をきちんと提出して欲しい。 | 「保育園、幼稚園、中学校の今後の在り方調査特別委員会」に付託して審査 (全員一致) |
| 陳情書（中学校移転計画については、急いで決定は行わず、時間をかけて慎重な検討を行うことを求める陳情書） | 「中学校移転問題等を考える有志の会」から、2036筆の署名を添えて提出されたものです。中学校移転については、町民の理解は得られておらず、今後、時間をかけて慎重な検討を行うことを求める。 | 採択 (全員一致) |

岡親佐議員を、議会運営委員会委員に選出しました。中井泰洋議員から、議会運営委員会委員の辞任の申し出があり、閉会中であつたので、議長がこれを受理し、新たに岡親佐議員を選出しました。

左記の表の通りです。
○所管事務等の調査について
（全員一致）
《その他》

『選任』 出しました。 (全員一致)

臨時議會報告

地方創生の事業費、2億円
7月10日、第3回臨時議会が開かれ、一般会計補正予算が審議されました。
2億200万円を追加するもので、歳入は、地方創生推進交付金が1億円、繰越金が1億200万円です。
歳出は、委託料が、1億9200万円、教育関係の業務・事業委託料が200万円等です。
この内、1億9200万円は、ナギカラに委託します。事業の内容は、「町の人事部」等運営推進事業（350万円）、「多世代共生型ポイント制度」運営推進事業（1650万円）、「パイロットハウス」整備・運営事業（3900万円）、「新しい小さな拠点」整備関連事業（3400万円）など、12事業、1億9200万円です。また、中学校の再度の耐震診断に、委託料200万円が組まれまし

議員から、これらの事業は、町民の要望から出た事業は少なく、成功しないのではないか。内容が、調査費、検討費などとなつており、どんな効果が出るのか、「小さな拠点」整備の内容は、等々の質問が出されました。また、中学校の耐震診断については、この診断の後に、必ず、改修ができるかどうかの調査をするのか、この調査にどんな意味があるのか、もつたいいないのでないか等々の質問が出ました。



(3) 奈義町議会だより 143号

地方創生で論戦

一般質問に8議員

Q 子育て教育検討会設置の目的は



芦田一郎 議員

A あらためて町民の声を聞きたい

答弁 町長 子育ての理念等について充分説明ができると誤解を招いたことを反省している。そこで、あらためて町民の声を聞くため検討会を設置する。

質問 中学校移転計画についての提言、要望書等提出されているなかでの「子育て教育検討会」の設置は、これまで、この教育方法が良いであろうと思われるとの説明であったが、誤解を招いたので、今後は町民の皆様の意見を先に聞きましょう、との方向転換だろうと思う。最終目的是、社会勉強と経験の後奈義町に帰り、奈義町單

質問 子育てについての検討会が設置される予定だが、目的は何か。



小中一貫校の給食風景（飛島学園）

答弁 町長 子育ての理念等について充分説明ができると誤解を招いたことを反省している。そこで、あらためて町民の声を聞くため検討会を設置する。

質問 中学校移転計画についての提言、要望書等提出されているなかでの「子育て教育検討会」の設置は、これまで、この教育方法が良いであろうと思われるとの説明であったが、誤解を招いたので、今後は町民の皆様の意見を先に聞きましょう、との方向転換だろうと思う。最終目的是、社会勉強と経験の後奈義町に帰り、奈義町單

質問 子育てについての検討会が設置される予定だが、目的は何か。

答弁 町長 これからの子育ての理念について、環境整備等の説明が、タウンプレイド、グランドデザインとの説明と重なり誤解を招いたことに反省をしている。

答弁 町長 国からの緊急情報を伝えるジェイアラートを活用し、情報手段が失われた場合を考えしつかりとシナリオをつくりたい。

質問 広報NAGI6月号において、弾道ミサイル落下時に、るべき行動について書かれていたが、もしその時があれば、その後が大事であると思う。行政として、その瞬間があればその後のシナリオが示せるか伺う。

そのなかで未来を担う奈義の子どもたちのより良い教育を推進していくことは我々の責務であり、地域に密着した教育、またふるさとを思う教育を行い、将来は奈義へ帰ってきて、未来の中となる子どもたちを育成することが今後の課題である。



岡部 英生 議員

Q 中学校・こども園の建設は、不撓不屈の精神で

A 丁寧な情報提供を行い、判断する

質問 今、町内で揺れ動いている奈義中学校、こども園の建設について、3案の配置案、概算事業費30億円から35億円の案が提示された。中学校の内容は、教科センター方式、小中一貫教育、6・3制ではなく4・3・2制などの案も示された。また、子育て教育検討会の立ち上げを行い、前向きに検討したい旨であるが、中学校、こども園の建設は、不撓不屈の精神で取り組む覚悟はあるのか伺う。

答弁 町長 中学校、保育園の建てかえには、多額の事業費が必要であるが奈義町の子どもたちのために、そして未来につながるものと考える。もう少し、時間をかけて、慎重に行い、子育て教育検討会を立ち上げ要望に応えた。さらに、丁寧な



耐震不足の中学校

質問 観光庁の日本版DMO候補法人「ビジット奈義」は、議会や町民には実態が理解されていない。ビジット奈義は何を目標に活動しているのか。

答弁 町長 ビジット奈義は、昨年4月11日に設立され、観光客の誘致、受入れ、観光客の誘致、受入れ

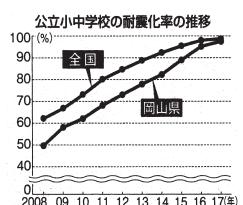
る。地域経済の活性化を図ってい

る。町内でも揺れ動いており、町民皆様、議会の理解を得て、町長の立場として決着をつけなければならない。

県内公立小中耐震化

7日に公表された公立小中学校の耐震化に関する文部科学省の調査、県平均の耐震化率97.8%は、両山市を中心ペースアップが図られることで全国平均98.8%との差が1.2%（前年2.8%）に縮まった。ただ、未対応校が残る4市町のうち奈義町で工期のめどが立つておらず、県教委が見通していた2019年度の完了が実現するかは不透明となっている。（4面関連）

19年度完了不透明に奈義町、工期めど立たず



（山陽新聞平成29年7月8日発行より）

質問 中学校、保育園、幼稚園等の建てかえ計画は、町教育大綱の改正なしには前に進まない、と思うかどうか。

答弁 教育長 町のまちづくり総合計画との整合性を図りながら、タウンブライドの教育文化部会、子育て支援保育部会の提言を受け、学校教育改革プランの検討を行っている。改革プランが具体的になった時点で、総合教育会議に提案する。

Q 奈義町教育大綱の改正は学校教育改革プランの中で検討

ビジット奈義の目指す観光まちづくりには、町民、行政が一体となり取り組んでいくことが重要である。

Q 保育園、中学校の建替えの概略試算の算出基準は



桑村 由和 議員

A 補助金などを含めてあくまで概算である

Q 貧困家庭の子どもは、把握できているのか
A 生活保護法と町教育委員会において就学援助を行っている

質問 保育園、中学校等の建設において将来の行財政運営に支障はないのか。
答弁 町長 過疎債や補助金、基金を活用できれば、将来負担比率を含めて極めて少ない負担で実施できる。直接、税金等に影響するところはない。

質問 保育園の園児数と施設の問題について、緊急性があると思うが。
答弁 町長 こども園化を含めて先行して検討する必要がある。

質問 新しい市場を作るのは大変であるが、収支については、どのように考えているのか。

Q しごとコンビニについて
A 町民の声と事業所の課題解決を図るための事業

質問 大学就学に係る育英金貸与制度の増額や件数を増やすことを検討してはどうか。
答弁 町長 この制度ができて間もないでの、要望や貸与状況を注視して精査していく。

質問 幼児期への教育は、学力や忍耐力を高めるなど、子どもの人生を大きく変える可能性があるが、どのように考えているのか。
答弁 教育長 経済的支援や保育、高い質の幼児教育、家庭教育の充実、家庭教育相談機能の充実を考え、一人一人をしっかりサポートしていく。

質問 王将跡地の建物の完成予定と周辺整備とその費用について。
答弁 町長 建物について

質問 勉強会等を行うキャリアアクトなど、公益性の高い事業も含んでおり、短期的な収支だけを捉えて評価する事業でなく、奈義町の発展につながると考えている。
答弁 町長 労務サポート、



まちの発展につながるか？ しごとコンビニ

質問 山彩村の加工施設の新設や、その運営について。
答弁 町長 6次産業化や加工品の試作に使って頂きたい。今後は、町内の6次化加工品に関心のある団体、個人で構成する奈義町6次産業化協議会（仮称）を立ち上げ、施設の利活用を図り、また、機器等についても協議していく。

質問 ナギフトカードとの概要といざなぎカードとの関係や費用について。
答弁 町長 「健康づくり」「地域活動や社会活動を促す」「子育て、教育、人づくりを応援する」「町内経済を活性化」を目指し創設するカードで、カードの作成費や事業の導入経費等を地方創生推進交付金で賄い、町民全員に配布する。いざなぎカード会さんにも賛同して頂き、今後、ナギフトポイントに移行する予定。より使いやすいポイント制度となるように、改良や改善を積極的に行っていく。

Q ナギカラと奈義町の関わりは



鷹取 渡 議員

A 地方行政に精通している

質問 地域再生推進法人のナギカラと、奈義町の関係がよく解らない。

答弁 町長 津山市や瀬戸内市などで実績があり、官民連携で町民の意見を聞きながら、事業を進めている。

地方創生事業は32年負担で事業ができる。

質問 今までの交付金と違い、スピード感があり、町民の理解が得られていないのではないか。

答弁 町長 新しい取り組みなので、試行錯誤しながら成功への道のりを探し、町の将来を真剣に考え、説明して理解していくだけ。

質問 多額の交付金があるが、今までの総額と町の負担分は。

答弁 町長 先行型・拠点整備・加速化など5億7000万円が交付され、9割が国の財源で、町は1割の負担で事業ができる。

質問 多額の交付金があるが、今までの総額と町の負担分は。

答弁 町長 状況をよく確認し岡山県や智頭

質問 今までの交付金と違い、スピード感があり、町民の理解が得られていないのではないか。

答弁 町長 新しい取り組みなので、試行錯誤しながら成功への道のりを探し、町の将来を真剣に考え、説明して理解していくだけ。

質問 多額の交付金があるが、今までの総額と町の負担分は。

答弁 町長 先行型・拠点整備・加速化など5億7000万円が交付され、9割が国の財源で、町は1割の負担で事業ができる。

質問 多額の交付金があるが、今までの総額と町の負担分は。

答弁 町長 状況をよく確認し岡山県や智頭



オープンしたラジータ

Q 菜の花まつりの評価は
A 新しい観光の仕組みづくりができた



来年をめざして!!

質問 菩提寺には年中多くの方が参拝されている。観光協会も大銀杏のライタアップなど行っている。観光客のマナーはとても良いがそれでもゴミはある。ゴミの収集車を回すことはできないか。

答弁 町長 基本的マナーを守つてもらう看板の設置を検討し、今はゴミ収集車の対応は難しい。



来年をめざして!!

Q 子育て教育検討会とは



安藤 榮一 議員

A 良い教育の推進のため

質問

子ども達の未来と子育て教育を町民皆様と考えるための子育て教育検討会の必要性及び設置の時期などについては。

答弁 町長 未来を担う奈

義の子ども達の、より良い教育の推進は、我々の責務である。検討会の時期は、8月下旬頃と考えている。

質問 町道馬場線は、歩道がない。子ども達の安全を確保するためにも一日も早い通学路の歩道・整備はできないか。

答弁 町長 必要な調査を行い、優先度を考慮して、検討していくたい。

Q 通学路の歩道・整備は
A 検討する



町道、馬場線（中島西地内）登校の状況

質問 本町の地域おこし協力隊の活動状況は。

Q 地域おこし協力隊の状況は
A 活躍している

答弁 町長 地域のイベント等に参加する機会も増え、町民との交流も深くなっている。今後も皆様のご支援とご協力をお願いしたい。

質問 教職員の長時間労働の解消に向けた「学校業務改善アドバイザー」事業への要請についてはどうか。

答弁 教育長 バイザーは、津山教育事務所を考えている。取り組みを検討していくたい。

Q 教職員の長時間労働への対応は
A 取り組みを検討する

質問 スマホを乳幼児におもちゃ代わりに与えていることもある。子どもの育ちを阻害する恐れがあることを乳幼児の親などに啓発が必要だと思うが。

答弁 町長 チャイルドホーリムや保育園で保護者にチラシを配布し、「なぎっこきずなメール」で子育についての配信をしていく。

Q スマホと子育への対応は
A 啓発をしていく



森藤 政憲 議員

Q 2000を超す署名を、どう受け止めるのか

A 説明が充分でなかった、と反省

質問 中学校の小学校西側への移転問題では、2000を超す、町政始まって以来の署名が集まり、議会に提出され、全会一致で採択された。移転について、慎重な検討を求める町民の声を、町長はどう受け止めた、という判断の方法はどう考えているのか。

答弁 町長 これまでの取り組みでは、説明が充分でなかつたと思つてゐる。今後、じっくり町民の皆さんとの声を聞くため、検討委員会の設置等を考えたい。

民意を図るために、アンケートの実施という方法がある。また、ふさわしい



署名を提出

かどうかがあるが、住民投票も検討の一つである。

Q 30年後の奈義町のためと言つが、意味が分からぬ奈義の子どもたちの実力を養うチャンス

A 30年後の奈義町のためと言つが、意味が分からぬ奈義の子どもたちの実力を養うチャンス

質問 小学校西側への移転案は破たんしているのではないか

Q 小学校西側への移転案は破たんしているのではないか

質問 30年後の奈義町のため、子どもたちのために、小中一貫校が必要と言うが、その理由は何か。意味不明である。説明を求める。

答弁 教育長 今は、奈義の子どもたちの実力を養うチャンスであり、重要な機会だと考えている。

質問 中学校の小学校西側への移転計画は、面積が足

りず、補助金も、体育館建設やグランド整備などには出ない。町の試算でも、35億円も掛かり、周辺整備も含めると、40億円を超えるような一大事業である。町民の理解は得られないと思うがどうか。

答弁 町長 中学校の移転先の面積の問題では暫定的なものであり、きちんとしたものではない。今後、検討を進めていく中では、委託をかけて、資料もそろえる必要がある。

質問 奈義町の地方創生事業は、仕事コンビニ事業が大幅赤字、地産外商事業は破たん等々、うまく運んでいない。片山元鳥取県知事は、お金（交付金）の事だけを考えるのではなく、本当にその地方のためになつてゐるのか総点検を、と述べている。町長の考えはどうか。ナギカラの提案を受け事業が進んでいるが、奈義町の実態に合つていては問題である。

Q 「ナギカラ」依存でいいのか

Q コンサルを活用するのはいいこと

質問 外部の意見を聞くことは大切で、コンサルタントを活用することはいいこと。コンサルだけに任せのではなく、内部でも検討を加え、手順を踏んで進めている。

※その他、国保税の値上げは避けよ、大変になつて放課後児童クラブや預かり保育の対策を、の2問を質問予定でしたが、時間の関係でできませんでした。

Q 楽しむ楽しめる観光を前面に！



A 大変重要である

中井 泰洋 議員



こんなところに住みたい！

質問 過去と現在の定住、移住、観光施策の違いについて問う。

答弁 町長 過去の定住、移住、観光施策においては、人口減少や少子高齢化の進展にいち早く危機感を持ち、総合計画の中でも重要な課題として位置付けてきた。

現在の奈義町においても、奈義町まち・ひと・しごと創生総合戦略と奈義町まちづくり総合戦略を策定し、分譲地や賃貸住宅において、特に、豊沢住宅跡地は、本年度中に地方創生交付金でしっかりとニーズ調査を行い活用計画を取りまとめて空き家については、空き家バンクの登録に難色を示される方もあり、個別での対応や丁寧な説明によるバンクへの登録を進めていきたい。

Q 定住、移住、観光施策について町民の参画が不可欠

従来からの定住、移住、観光施策とあわせて、国の方創生交付金を有効に活用した取り組みを進めている。本当に実効あるものとしているためには、町民皆様の参画が不可欠であると考える。

Q 賃貸住宅、空き家情報施策は

A 早急にやる

質問 分譲地、賃貸住宅、空き家情報施策の現在の状況はどうなっているのか。

答弁 町長 分譲地や賃貸住宅においては、現在、満室状態である。

質問 移住希望者の中には、土地、空き家を自分で探し、自然に親しみながら生活をしたいという話をされた方が少なからずおられた。このような移住希望者に対する支援ができるのか。

答弁 町長 個別の移住相談に対しても、空き地、空き家の所有者を交えて下見をするなど、丁寧な対応に心がけている。

余裕を持った住環境整備については、必要と考えるが、住宅ニーズ、費用対効果のことも考え、十分に検討しながら進めていく。

Q 自分で移住場所を探している人に支援できないか

A 個別の相談にも丁寧な対応に心がけている

質問 地方創生で期待されているのが観光の分野だと思うが、観光事業の推進状況は。

答弁 町長 稼ぐ観光の前に、楽しむ、楽しめる観光を前面に押し出しそれによって稼ぎが付いてくるように持つていてはどうか。

質問 観光と連携させて、移住、定住を推進させたためには、地域住民と来町者が交流し、お互いが楽しむ、楽しめる観光の推進は大変重要であると考える。観光振興は、町民の皆さんと一体となつて進めていかなければならない。

答弁 町長 奈義町に来て、見て、触れていただき、奈義町民の温かさを感じていただくことで、初めて奈義町の魅力を知つてもらえるようにな

Q 観光事業の推進状況は

A 町民の皆さんと一緒に体となつて進める



岡立議員

Q 急げ!!希望のもてる人材育成を

A 課題をもって取り組み始めている(町長)
工夫と仕組みづくりと人で取り組みたい(教育長)

質問 随分前から、何事が
人が大切、人づくりが重要
と言ったが、なか
なか実行に移せて
ない様に思う。将来
の奈義町づくりに必
要な人材育成が急が
れるのではないか。

答弁 教育長 人員
と工夫が必要だが、
正直言つて人員に關
しては、大変厳しい
状況。

質問 こちらで考え
るには、人も時間も
必要になるので、例
えば“ももたろう
塾”等に参加を促す
のはどうか。

答弁 教育長 外か
らの学び、出かけて
行く学び、広げる学
び、共有する学びが
必要で賛成したい。

質問 職員の人材育
成について、どう考
えているか。各対策
にもコーディネーター
が必要ではないか。

答弁 町長 課題を
持つて、チームで討



プロジェクトチームの視察研修



始まった人材育成

論していく。今、活動して
いるプロジェクトチームで、
すでに育成を始めている。
多数育つよう、早急に取り
かかっていただきよう、お
願いしたい。

論していく。今、活動して
いるプロジェクトチームで、
すでに育成を始めている。
多数育つよう、早急に取り
かかっていただきよう、お
願いしたい。

質問 人材育成は、重要。
優秀な町民、優秀な職員が
多い期間なので、縦割りの工
夫、兄妹学級、対外行事、
社会教育で外部と交わる等、
意図的に関わらせる工夫で
修正をしていく。

質問 新しい制度なので、
町での手間がかかり大変で
はないか。

答弁 教育長 9年間の長
い期間なので、縦割りの工
夫、兄妹学級、対外行事、
社会教育で外部と交わる等、
意図的に関わらせる工夫で
修正をしていく。

質問 生き抜く力の向上ため、教
科の学びと共に、地域学、
未来学を幼小中連携し、一
貫する中で、自己実現を図
り結果的に奈義を守ること
をめざしている。

答弁 教育長 学力の向上、
奈義の教育で目指し
ているのは何か。

質問 現状よりワンランク
アップするために、何に力
を入れるのか。

答弁 教育長 さらには、
コミュニケーション教育を
加え、独自の取り組みを立
ち上げ、文化格差への挑戦
をしていく。

質問 小中一貫教育のデメ
リットは修正ができるのか。

質問 コミュニケーション教育を
加え、独自の取り組みを立
ち上げ、文化格差への挑戦
をしていく。

答弁 教育長 教科センター
方式は、教科ごとに教室が
あり、生徒が教科ごとに移
動する。思考力、判断力、
表現力の育成の根本を育て
る学び、アクティブラーニ
ングの基礎となる教育の可
能性を広げる方式で、結構
レベルが高く、カリキュラ
ムをしっかりと組み立て、奈
義にしかできない教科セン
ターを目指したい。集団の
学びも大切にしながら、閉
じきみになる学校をオープ
ンにする工夫をして地域と
ともに歩んでいきたい。

委員会報告

総務常任委員会

子育て教育検討会の性格は？

6月7日、所管事務の調査を行つた。主な質疑は次の通り。

問..子育て教育検討会（仮称）の性格、位置付けは。

答..どういう教育をするか、どう

いう施設が必要、どこの場所に建てるのか等を検討する。

町長が議会に提出する材料として考へるといふ位置付けである。

問..住宅政策の見通しは。

答..豊沢住宅の跡地を今年

度で検討する。

問..介護保険第7期計画の作成スケジュールは。

答..9月頃までに各対象者アンケートに基づき、そ

れぞれ施策検討を行い、計画の基本を作成する。

11月下旬から12月上旬

までに計画原案の策定を

する。

問..子育て応援宣言の写真

展の計画は。

答..平成29年度で予定して

いる。早目に内容を詰め

て対応していく。

問..Jアラートが鳴って、

ミサイルが着弾するまでの

時間はどれくらいか。

答..一番早く到着した例で

は、10分程度で沖縄につい

たというのがある。

問..高等学校就学支援金の支給実績は。

答..（後日、詳細な数が提

出された。）

問..働きすぎにならないようよく注意する。

問..将来買い取りの話ができる。どちらか。

問..教育方針を、早く決定すれば、建物の設

ける。

6月8日、所管事務の調査を行つた。主な質疑は次の通り。

問..パイロットキッ

チン事業の土地

は借地か。

答..将来買い取りの話ができる。

答..建物の

建設は、

教育方針

を決めた

後になる。

問..ナギフ

ト制度は

進んでい

るか。

答..いざな

ぎカード

会と調整

をしてい

る。健康・

福祉のポ

イントも

考えてい

まちづくり・文教常任委員会

問..コミュニティースクールは、年何回予定しているか。

答..年4回程度と考えている。



横仙歌舞伎 京都大学で公演

保育園、幼稚園、中学校 在り方調査特別委員会

- 3月28日、奈義町の今後の教育について、PTAで実施したアンケートの結果の報告を求めた。
- 中学校の建て替えに係る大まかな経費と財源の内訳を執行部に依頼した。
- 4月25日、地方創生の事業と中学校建設が一緒になって、誤解や混乱を招いている。執行部とじっくり話し合う機会をつくる。
- 教育委員会と合同で岡山大学の高旗教授の講演を聞いた。若桜町、島根大根島の小中一貫校の実践のお話だった。良いところもあるが、考えさせられる部分もあるとのことだった。
- 5月15日、執行部より、中学校3案の配置図と、概算の建設費と財源の説明を受けた。中学校の西に建設する場合に面積が足らないのではないか。地方創生に係わっているエウレカの試



小、中一貫校デメリット研修中

● 今回の委員会は申し合わせにより④項目めの観光・民泊を利用しての交流人口の増加や移住定住について調査を行っていくことと決まった。観光については、奈義町には、横仙歌舞伎があり、歌舞伎の体験ツアーや、歌舞伎の衣装を着けて、ドーランを塗り仕草を教え、実際にやって頂き、写真やビデオを撮影し、民泊ができるようなどある。そこで、民泊ができる所は問題がある。小谷孝司先生のお話を聞いた。小中一貫教育に取り組まれてきた中で、児童・生徒数の多い学校や、小、中学校が離れているのが問題だ。奈義町の小中一貫校の実践のお話だった。良いところもあるが、考えさせられる部分もあるとのことだった。



今後どうなる手入れされたきれいな空家

定住化促進調査特別委員会

5月17日、委員全員と小阪議長、出席のもと委員会を開催しました。新しい委員に変わり、過去の委員会の活動内容の確認と、今後の2年間の活動方針を協議しました。

過去の委員会の活動内容は、①住宅問題、②町のアピール、③婚活、子育て支援という内容だった。

今回の活動として、まず、萱葺屋根の家や古民家を視察に行って、民泊ができるようなどあるところがないかを確認するということになった。

装を着けて、ドーランを塗り仕草を教え、実際にやって頂き、写真やビデオを撮影して、ボランティア団体等がその空き家で民泊などを出た。また、空き家を改築して、接待をしたらどうかという案も出た。

5月26日に、総会が奈義町において開催され、議員全員が参加し、各事業報告、収支決算報告を審議し閉会しました。

午後からは、委員会による視察で両町の子育て支援事業、定住化事業等について発表し、意見交換を行いました。

**勝田郡議会議員
協議会総会**



勝田郡議会議員協議会総会

第22回全国小さくても輝く自治体フォーラム in 岩美町

7月7日～8日
に鳥取県岩美町で開催されました。

岩美町は、浦富海岸海水浴場、岩井温泉のあるマリンスポーツの盛んな町です。記念講演は、持続可能な地域社会総合研究所所長の藤山浩氏の「人口減少と田園回帰1%戦略」と題する話でした。都市人口集中がもたらす中山間の限界状況に対しても、バランスのとれた住居と、地域に根ざした暮らしを取り戻す、田園回帰の動きが全国各地で見られる。過疎地域においても、地域人口の1%分の定住を増加させることによ

り、持続的な地域人口の展望を開くことができる、との内容であった。

分科会では「観光」、「しごとづくりと定住促進」、「地域運営組織」の3部会に分かれ研修を行った。

「地域をどういかし、どうすすめるか」との議題でパネリストを交えてのシンポジウムが開催された。

最後に次期開催地を北海道訓子府町として閉幕した。



小さくても輝く自治体フォーラム

7月4日、県町村議会による研修会が開催され、ローマ法王にお米を食べさせた男・高野誠鮮氏、テレビ等でおなじみの政治評論家・有馬晴海氏の2名による講演を聞きました。

高野さんのお話は、「人を動かし、まちを動かす」と題し、大切なことは「基本理念を持つこと」「最高級を目指すこと」それには、何が大切か、とにかくやってみる。失敗して一步前へ進む、これが一番。高野さんは、次にあげる人の話は聞かない様にしているそうです。
●失敗した時のこと

を言う人●知識だけの人●榮誉やお金が目的の人●論議だけの人●私心のある人。

しかし、役所と共に進めようとするとき、役所は、やつたことのない人が決済をし、失敗しそうなことには、決裁がおりない、ただ「私は、背中を押してくれ、責



岡山県町村議会議長会研修会

岡山県町村議会議員研修会

編集後記

【編集委員】
議長委員 小中岡井 泰四郎
副委員長 中岡森 藤立洋
委員長 芦田政英
副委員長 英生郎

暑中お見舞申し上げます。梅雨が明け、暑さみなぎる夏となりました。町民皆さん水分をこまめにとり、体調管理に気をつけ熱中症対策をして下さい。先月の梅雨末期の大雨により九州北部地方では大災害が発生しました。被災地の皆様に心よりお見舞いを申し上げるとともに、亡くなられた方々のご冥福を心からお祈り申上げます。

本経済と世界での立ち位置、アメリカや中国との関係の今後、3000兆円もの貯蓄を持っている国民に、安心してお金を使ってもらう等々、多くのことを学んだ研修となりました。

さて、夏は恒例の「ふるさと夏まつり」が8月14日(月)、奈義中央広場にて開催されます。町民皆様も積極的に参加していただき、歌に踊りに元気な「夏まつり」を満喫して下さり。(岡部英生)